

三条市子ども・若者総合サポートシステム
平成 22 年度活動実績・平成 23 年度活動計画
【問題行動対応部会】

《平成 22 年度活動実績》

1 問題行動対応部会 対象者の登録状況と対応

(1) ア 把握件数（平成 23 年 3 月末現在）

区分	非行	不登校
人数（人）	36（9）	85（8）

※（ ）については、他の区分を重複している件数

※不登校の平成 22 年度 3 月末実績：107 人

（不登校については、当月実績分を翌月に登録するため、3 月末現在登録件数は 2 月末実績）

（再掲）「個人情報の取扱いに関する同意書」提出件数

区分	不登校
人数（人）	3

イ 市内小中学校での問題行動の発生・対応状況

①いじめ関係（人数）

	H18	H19	H20	H21	H22
小学校	13	26	24	17	15
中学校	11	24	32	36	17
合計	24	50	56	53	32

②不登校関係（人数）

	H18	H19	H20	H21	H22
小学校	24	21	17	24	26
中学校	59	65	83	83	81
合計	83	86	100	107	107

◇H23.5 月現在 適応指導教室に通級・訪問の生徒・児童数 5 名

（内訳）小学生 2 名、中学生 3 名（内 訪問指導 3 名）

③暴力行為等（件数）

年度	区分	H18	H19	H20	H21	H22
	対教師	1	0	0	1	2
	生徒間	1	1	3	9	3
	器物破損	3	1	2	6	0
	合計	5	2	5	16	5

(2) 受理後の対応 (学校から報告を受けた「いじめ」発生時の対応)

- 1 「いじめ」発覚 → 学年主任・生活指導主任・教頭・校長へ報告
- 2 被害児童生徒から丁寧に (複数で) 事情聴取【面談】
- 3 関係・加害・周囲児童生徒から丁寧に (複数で) 事情聴取【面談】
- 4 被害・加害者宅へ複数で家庭訪問し「事実」の報告と「謝罪」
- 5 「被害者」親子の願いに寄り添う！ 謝罪会・警察へ被害届・静観…
- 6 学級・学年・全校集会で児童生徒に概要を知らせ再発防止指導
- 7 被害者親子に文面を確認してもらい「お便り」(学級・学年・学校)で保護者に周知、再発防止策についても具体的に報告
- 8 上記のような対応をせず、準備・方策のない、ただ状況説明だけの「臨時保護者会」はリスクが高い(グループクレーム化) 既存の保護者会・集会で折に触れ、進捗状況を丁寧に知らせる。
- 9 しばらくの間、被害者・加害者に「今日1日の様子」を聴き、心のケアに努める。
- 10 その後の様子を被害・加害児童生徒の保護者に定期的に伝え続ける。

2 問題行動対応部会 会議開催状況

会議名	回	月日	場所	内容等	参加数
実務者会議	第1回 ※虐待防止部 会と合同	7月22日	三条市役所 栄庁舎	・三条市子ども・若者総合サポートシステムについて ・関係機関・組織における取組について	23 機関
その他会議 等	第1回	4月28日	小中一貫生徒指導研修会 研 修:「子ども・若者総合サポートシステム」について 指導者:子育て支援課課長補佐 蝶名林 稔		40 人
	第2回	8月6日	小中一貫生徒指導研修会 各中学校区で開催		
個別ケース 検討会議等	担当指導主事・SSN 指導員が学校へ出向き指導・助言を実施、あるいは個別ケース検討会議を開催して問題の対応にあたった回数…30 回 (内訳 問題行動 10 件 不適応生徒 6 件 不登校 5 件 いじめ 4 件 家庭内問題、家出、万引き 各 3 件 深夜徘徊、傷害 各 2 件 摂食障害、窃盗、いやがらせ行為、行方不明、飲酒、学校・家庭間問題 各 1 件) 内、個別ケース検討会議開催回数…13 回 上記の他、各月 1 回、適応指導教室で個々の生徒を対象にしたケース検討会議を実施				

3 研修会・講演会

月 日	場 所	内 容	参加人数
6月17日(木)	三条市役所栄庁舎 大会議室	社会性育成教員リーダー研修 加茂・田上合同(県主催)	50 名
6月25日(金)	体育文化センター	学警連	50 名
8月5日(木)	長岡リリックホール	心つながる地区の集い	—
12月8日(金)	—	社会性育成教員リーダー研修 加茂・田上合同開催	—

4 成果・課題

活動の成果	活動から見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・早期対応・早期解決を指導徹底して、「いじめ」が激減した。暴力行為も減少し、中でも「器物破損」が、5年ぶりにゼロ件であった。先生方との信頼関係が構築され、子どもたちが、学校を大切にしていることの表れである。 ・学校だけでは、解決できない重篤なケースの相談が増加し、担当指導主事・SSN指導員・臨床心理士等の派遣要請が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場が、余りに忙しすぎるため「個別ケース検討会議」の設定が困難な場合がある。 「どこの・誰に・どう繋ぐ」といったポイントだけは、押さえるように適時アドバイスし、「見守り」という名の「放置」にならぬよう引続き指導していく必要がある。

《平成 23 年度活動計画》

1 会議開催予定

会議名	回	月日	場所	内容等
実務者会議	第1回	4月28日	三条市役所 栄庁舎	小中連携生徒指導研修会 研修 ～幼保小中連携しながら継続的に見守り、育てる視点～ 中央児童相談所相談判定課 課長代理 神田 紀子 様 参加者：市内小学校生活指導主任・中学校生徒指導主事
個別ケース 検討会議	随時	なお、その他各月1回、適応指導教室で個々の生徒を対象にしたケース検討会議を実施		

2 啓発活動

- ・毎月の校長会での指導 情報交換
- ・市内外で事件事故発生時、随時、再発未然防止の通知をメール配信
- ・教頭会や中学校区の研修会、校内研修等での指導

3 研修会・講演会

題名	月日	場所	内容等	参加 予定数
社会性育成 教員リーダー 研修	6月16日 (木) 11月16日 (水)	加茂市 文化会館	いじめ・不登校・非行等の発生を未然防止するため 学校の中核となって運営推進する教員リーダー研修 (県主催 三条・加茂・燕・田上合同) 対象者：主に学校生活指導主任・中学校生徒指導主事	80名
学校・警察連 絡協議会	6月21日 (火)	中央公民館	市内小中高の生徒指導担当と警察が一堂に会して、 情報交換と今日的課題の解決について各部会で話し 合う。 対象者：主に学校生活指導主任・中学校生徒指導主事	50名